

第1部

- ♪ カルメン前奏曲 J. ビゼー
- ♪ タンゴ I. アルベニス
- ♪ セビーリャ
- ♪ アストゥリアス
- ♪ スペイン舞曲 No.5 E. グラナドス
- ♪ 歌と踊り No.6 F. モンポウ
- ♪ 鳥の歌 カタルーニャ民謡
- ♪ セレナータ マリンバーナ 外山 雄三

第2部

- ♪ 組曲「恋は魔術師」 M. ファリャ
バントマイム
情景
きつね火の歌
恐怖の踊り
魔法の輪
真夜中－火祭りの踊り
- ♪ スペイン舞曲 No.1 M. ファリャ
オペラ「はかなき人生」より
- ♪ ヒタネリアス E. レクオーナ
- ♪ サンプラ ヒターナ
- ♪ マラゲーニャ
- ♪ カルメン幻想曲 P. サラサーテ
アレグロ モデラート（序奏・間奏曲アラゴネーズ）
モデラート（ハバナラの歌）
レント アッサイ（鼻歌「トゥ・ラララ」）
アレグロ モデラート（セギディージャの歌）
モデラート（ジプシーの歌）

演奏者プロフィール

マリンバ：明瀬 由武 AKASE Yoshitake

東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行う。NHK・FMにて新実 徳英「For Marimba」、西村 朗「ソロマリンバのための詩曲」他、数多くのマリンバ作品の初演をする。青年海外協力隊員として中米コスタリカに派遣される。国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者。在任中、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行う。

現在、東京・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

1998年 CD「マリンバの贈り物～クリスマスの日～」

2007年 CD「マリンバの贈り物パート2～星降る夜～」

ピアノ：高瀬 奈美 TAKASE Nami

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中より打楽器、声楽などの共演者として活躍。

現在各地にてコンサートの企画、演奏活動を行っている。2002年よりバイオリン、フルート、声楽などのゲストを迎えて「夜想曲シリーズ」を展開。また2008年よりソロシリーズ「ピアノ叙情詩集」をスタートさせている。

2000年 CD「ソナタとインターリュード」

編曲者

平岡 養一 HIRAOKA Eiichi カルメン前奏曲

野口 道子 NOGUCHI Michiko セビーリャ

織田 英子 ORITA Eiko 鳥の歌

野田 雅巳 NODA Masami レクオーナ作品

マリンバ と ピアノによる

MIXMAGIC

ミックスマジックコンサート Vol.5

～スペイン 情熱の歌と踊り～

マリンバ 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

2014年1月11日(土) 3:00 PM

MUSICASA

主催：久守文化基金

✿ ミックスマジックコンサート・・・・・・ ✿

マリンバとピアノ。どちらも鍵盤を叩いて音を鳴らす楽器。

一見ぜんぜん似ていないけれど、よく似ている楽器・・・・・・。

マリンバは木の響きをパイプがひろげ、ピアノは金属ワイヤーの響きを木の響板がひろげる。

あべこべのようで、実は同じよう・・・・・・。

あまりに、その二つの楽器は、同じような素材を使って出来ているので、時々似通った音を出してお互いを邪魔してしまう。

なかなか合わせるのが難しい楽器同士でもあります。

でも、それが上手くいったときには、魔法の時が訪れます。

作曲家、編曲者、演奏者、それぞれの個性がミックスされ新しく生まれる時間を、聴きにいらして下さった皆様と共に楽しみたい・・・・・・。

そんな想いからミックスマジックコンサートを始めました。

どうぞ、魔法の時をお楽しみください。

～今日のプログラムについて～

ミックスマジックコンサート第5回は「スペイン～情熱の歌と踊り」をテーマに、前半は、情感あふれる歌とリズムカルな踊りなど、スペイン音楽の多彩な世界を、後半は、スペイン音楽の代名詞とも言えるジプシーの世界にインスピレーションを受けた作品の数々をお聞きいただきたいと思います。

13 第1部

♪ カルメン前奏曲

J. ビゼー(1838～1875)
オペラ「カルメン」はセビリア(南スペイン アンダルシア州都)の工場で働く女工のジプシー カルメンを取り巻く物語で世界的に人気があります。カルメンは、演奏会で取り上げられる場合は組曲として演奏されることが多いようですが、この前奏曲(トレアドル/闘牛士)はそのなかでも断トツに演奏回数が多く、知られています。

♪ タンゴ

I. アルベニス(1860～1909)
スペイン カタルーニャ出身のピアニスト・作曲家アルベニスは、スペイン近代民族主義楽派として特にピアノ曲を多く作曲しています。タンゴは組曲『スペイン』作品165の第2曲で、彼の全作品中でも、もっとも知られている曲かもしれません。

♪ セビーリャ

この曲は『スペイン組曲 第1集』作品47の第3曲で、ギターで演奏されることもあります。アンダルシア地方の舞曲(セビリャーナ)の速いテンポで、カスターネットのリズムののって、祭り(復活祭聖週間)の主題が情熱的に歌われます。中間部では、祭りの行列に向かって歌う、宗教歌(サエータ)が聞こえてきます。

♪ アストリアス(伝説)

もとはピアノのための『スペインの歌』の前奏曲として書かれた曲ですが、アルベニス没後、アストゥリアス(Asturias)と改名され、セビーリャと同じ『スペイン組曲 第1集』の第5曲として組み込まれました。ギターの名手アンドレ・セゴビアが自身の楽器のために編曲したこともあり、また、この冒頭の音型からも、ギターのオリジナル曲とされている人は多いようです。

♪ アンダルーサ

E. グラナドス(1867～1916)
カタルーニャに生まれたグラナドスは、アルベニスと並び、スペインの国民的作曲家として有名です。民族色の強いアルベニスの音楽と比較すると、彼の音楽はその民族性に加えて、ロマン的な性格が強く、その甘美さ、繊細さにおいて、シューマンや、ショパンとも通じるところがあるようです。一方で、印象派的な傾向など、ドビュッシーからの影響も見られます。

アンダルーサは『スペイン舞曲集』作品37の第5曲で、ギター風の伴奏の上に哀愁を帯びたメロディーが歌われており、この曲集の中で最も知られている曲となっています。

♪ 歌と踊り No.6

F. モンボウ(1893~1987)

モンボウはバルセロナ(カタルーニャ州首都)出身の作曲家・ピアニストです。「歌と踊り」の中でも人気が高いこの曲は1942年に作曲され、アルトゥール・ルービンシュタインに献呈されました。『歌』の主題はモンボウのオリジナルで、自問自答を繰り返すように進むその旋律は、苦悩や悲しみに満ちています。ためらいがちなくらいに、一つ一つの音を大切に歩いていきます。『踊り』では、勢いのあるリズムにのせて、はずむような3度のリズムが興奮を誘います。後打ちの右手のリズムが曲に推進力を与えています。モンボウ自身が述べるように、キューバ、ブラジル、アルゼンチンの香りを感じさせるような雰囲気をもっています。

♪ 鳥の歌

カタルーニャ民謡

パブロ・カザルスは故郷のカタルーニャ民謡のこの曲を編曲しレパートリーとしましたが、特に1971年10月24日の世界国際平和デーの国際連合本部でのアンコール演奏が全世界に放送されたことで有名になりました。原曲はカタルーニャのクリスマス・キャロルで、聖誕を鳥が祝っている様子を歌っています。

原詩の大意・・・至上の夜に気高き光が大地をあまねく照らす

鳥達は集まり、甘美な声で祝い歌を歌う鳥達は歌う

イエスが生まれ、我らは罪から救われ、喜びを与えられる

♪ セレナータ マリンバーナ

外山 雄三(1931~)

N響の指揮者として、また「管弦楽のためのラブソディー」などの作曲家として有名な外山雄三氏が、1962年に東京マリンバグループのために作曲し、私のマリンバの師田村拓男氏が初演しました。急一緩一急の三つの楽章からなっています。セレナータは夜、恋人の窓辺で歌われる恋の歌ですが、2楽章はまさにそういう情熱を表しています。また、終曲のピアノパートはフラメンコギターを連想させます。

第2部

♪ 組曲「恋は魔術師」・・・パントマイム、情景、きつね火の歌、恐怖の踊り、魔法の輪、真夜中一火祭りの踊り

M. ファリャ(1876~1946)

ファリャはとりわけ、出身地アンダルシアのフラメンコに興味を寄せ、多くの作品にその影響を示しています。初期作品の中でも最も重要な作品は2幕形式のオペラ『はかなき人生』です。また、『恋は魔術師』『三角帽子』など、彼の作品には、民族主義と印象主義の両方がバランスよく混在しています。1936年にスペイン内戦が始まり、1939年にアルゼンチンに亡命しました。

「恋は魔術師」はジプシー娘のカンデーラの物語です。その恋人のカルメロは彼女の以前の恋人であった男の亡霊に悩まされています。そこで彼女は友人の美しいジプシー娘に亡霊を誘惑してもらい、その隙にカンデーラはカルメロと結ばれる、という筋書きです。

♪ スペイン舞曲 No.1~オペラ「はかなき人生」より

オペラ「はかなき人生~La Vida Breve」はファリャの出世作ですが、この第2幕で演奏されるスペイン舞曲はファリャ自身のピアノ編曲もありよく演奏されます。曲は、哀愁に満ちた旋律とスペイン風リズムで、大変美しくファリャの音楽的才能が遺憾なく発揮されています。今日はF.クライスラーのバイオリン版を元に演奏します。

♪ ヒタネリアス

E. レクオーナ(1896-1963)

レクオーナはキューバの伝説的な音楽家です。20世紀前半のキューバ楽壇では、間違いなく最も偉大な音楽家で、多方面にわたる作曲活動のかたわら、ピアニストとして、またバンド・マスターとして、世界的な演奏活動を繰り広げた、とされています。キューバ革命で嫌気がさしてスペインに永住したこともあり、彼の音楽はキューバだけでなくスペイン音楽の影響が大変濃く出ているように感じます。

ポピュラー曲も書いており、特に「シボネー」「そよ風と私」などは今日いらしている年配の方はご存知ではないでしょうか。

ヒタネリアスは二短調、三部形式の曲です。ヒタネリアスとはジプシーの集団のことで、曲はタブラオ(フラメンコ酒場)でのジプシーの速いフラメンコの踊りの光景を描いているようにも思えます。

♪ サンブラ ヒターナ

サンブラとは、初期のムーア人から受け継がれ、アンダルシアのジプシーたちによって、特に彼らの結婚式などの祭で踊られているダンスです。単調なシンコペーションのリズムにアラビア風の旋律がのっています。床を重々しくドンドンと踏み鳴らしながら、悲しい歌を歌うような雰囲気曲です。

♪ マラゲーニャ

ピアノ独奏のために作曲された6曲からなる『スペイン組曲 アンダルシア』の終曲です。南スペイン・マラガ地方に伝わる民謡マラゲーニャによる情熱的かつ叙情豊かな小品で、おそらくレクオーナの作品の中で最もよく知られています。親しみ易く情熱的な旋律はピアノの他多くの楽器による独奏やアンサンブル、管弦楽編曲、またポピュラー音楽として広く演奏されています。BGMとして耳にする機会も多く、以前フィギュア・スケートの選手が使用していました。

♪ カルメン幻想曲

P. サラサーテ(1844~1908)

ツィゴイネルワイゼンの作曲者サラサーテはスペイン北東部(バスク地方)の出身です。カルメン幻想曲(仏: *Fantaisie sur Carmen*) 作品25は、J. ビゼー作曲のオペラ『カルメン』に登場する旋律を用いて、ヴァイオリンの名技性をふんだんに聴かせてくれるヴァイオリンと管弦楽のための幻想曲です。『カルメン』の旋律を基にした同種の作品は数多くありますが、その中でも最も有名なものの一つです。